

ほりえ 眞報34号

謹賀新年 政権交代 高速道路も開通 市議会も新体制で始動 たたら場壱番地 出番！

12月議会補正予算の中身

新年明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひ申しあげます。昨年11月の市議会改選で不肖私 多くの皆さまの温かいご支援を賜り当選の榮に浴しました。皆様から戴いたご意見を市政に届け反映するよう、渾身努力して行きます。

尚小生は「産業建設常任委員会」に所属し「広域連合議会」、「原発対策特別委員会」に所属することになりました。農林業・畜産、商工業 各種道路・防災工事など建設事業、上下水道等に係る様々な課題。広域連合では介護保険事業、広域観光など。原発委員会では一部が30 Km圏内に位置する雲南市民の広域避難計画や中国電力との協定問題など原発について専門的に調査研究に取り組みます。その他分野を問わず市政全般に対するご意見ご批判を賜りますようお願いいたします。

皆様の今年一年が素晴らしい年になりますように祈ります。

今議会で一億五千万円余を補正。総額二百九十五億円の一般会計予算になりました。主な予算は大東町・元「ゆとりの里」の周辺構造物の撤去・解体などに2千8百万円、有害鳥獣捕獲奨励金1千万円余の増額（総額約2千4百万円）、担い手農地集積事業補助に5百万円、市内で実施されるプレミアム付き商品券補助に2千5百万円、中国横断道の開通イベントに3百万円等が予算化されました。



春のオープン控え急ピッチで進むたたら場壱番地。ソバ・軽食・卵かけご飯 地元産品売り場を完備



大きなテントに覆われた菅谷高殿解体中随時見学会が行われる。

菅谷高殿大改修始まる

宝暦元年（一七五一年）掛合村川上鉦を菅谷に移動。途中一〇年間杉戸鉦に移るも再び菅谷鉦に場所替、その後大正十年五月五日最後の操業まで約百七〇年間連続吹き続ける。大正十二年七月終りに閉山。昭和四十二年十一月十一日重要民俗資料として指定された。嘉永三年（一八五一年）に炎上した記録が有る。この時は屋根のみ焼失したと言われており軸立ては宝暦以来の建物か。約260年を経て本格的調査。今後の解体調査報告が待たれる。今回は地上部分のみの大改修で大舟・小舟など地下構造について掘り返し調査されることはない。土壁は取り壊されるが再利用されると言う。高殿本体は二五年度中に終了予定。その後元小屋や米倉などが改修される。この度三番屋敷と村下屋敷が重要文化財に追加されました。国の宝。大事に守りましょう。

新市役所の基本設計を発表 平成25年度 実施設計へ

これまで検討を重ねてきた新市役所設計画の基本設計について1月15日の全員協議会で報告。場所は合同庁舎周辺。総事業費31億円を堅持。5階建。建設の基本方針①分かりやすく利便性の高い庁舎②効率的な行政事務が出来る庁舎③防災拠点となる庁舎④省資源環境に優しい庁舎。センターポイドと呼ばれる中央に吹き抜けを設ける。朝日・夕日を避けるため東西面にルーバー（陽射し除け）を設ける。一階中央部分をオモテ座敷（仮称）と称しイベントに対応できるスペースを設ける。六町村合併の象徴として各種機会に対応するロク座敷（仮称）を設置する。議場は5階に設置し固定式とする等が提案されました。24年度中に基本計画を決定。25年度で実施設計に入る予定。28年度から供用開始を目指す。

編集後記 平成25年もあつという間に過ぎて行きます。東京で大雪。家の周りは小雪。異常気象か。春は確実に接近中。政権交代でデフレ不景気から早期脱却。地方に活力、地域に元気が出るように頑張つて行きます。眞